



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第20号

令和6年10月9日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 前期終了・後期開始

本校では、先週の金曜日に「前期」を終了し、今週の月曜からは「後期」が開始となりました。それに合わせて、金曜日には前期の「通知表」を配付しました。1年生は中学校でもらう初めての「通知表」、2年生は1年生の時の自分との比較、そして3年生は進路決定に大きな意味をもつ成績の確認ということで、それぞれに悲喜こもごもの雰囲気の中、記載内容と真剣に向き合う様子が校内で見られました。

また、月曜は「後期開始の日」ということで、「全校朝礼」を行いました。まずは、先日行われた後期生徒会役員選挙で選ばれた執行部、そして各クラスから選出された後期の学級委員・議員の「認証式」を行いました。周りの人や自分自身の「期待」に応えられるよう、それぞれの立場で精力的に活動し、より良い学校・学年・学級づくりを進めてくれるのを楽しみにしています！

また恒例の「先生方の講話」では、齋藤先生、伊藤圭佑先生、千賀先生からお話を聞きました。齋藤先生からは「時間の有効利用」について、伊藤圭佑先生からは「ファーストペンギン」から学べること、千賀先生からはご自身のヨーロッパ訪問で見た「アウシュビッツ収容所」から考えたことについて、お話をいただくことができました。それぞれに、とても興味深い内容を取り上げてもらいましたが、子どもたちの後期の生活が充実したものになる一助になれば何よりです。



♪ 先生たちの「勉強会」

先週の木曜日は、4時間授業で給食を食べたら下校という1日になりました。子どもたちが小学生の頃から毎年この時期に早く帰れる日が1日あったにではないかと思いますが、中には「どうしてだろう?」「何があるんだろう?」と思っている人もあるかと思いますが、年によっては「年間行事予定表」に記載をしている時もあります。この日は海部地区にある小中学校の全ての先生方を対象にした「現職教育研究集会」(先生方の研修会)が、地区内のおよそ20会場で開催されるため、地区内全ての小中学校で、このように児童・生徒が早く帰る日となっています。ちなみに、先週の木曜日の研修会について、佐織中学校も集会を実施する「会場」になっていて、海部地区内からおおよそ70名の先生が来校し、学校の垣根を超えた先生同士の「学び合い」が行われました。



毎年設定される10月上旬の早帰りの日ですが、ぜひ来年度は「今日は先生たちが勉強してるんだ」と頭に浮かべて、生徒の皆さんも学校ではできない貴重な学びを深める機会にしてみてはいかがでしょうか？

♪ いよいよ「学校祭」が始まります

いよいよ明日から2日間の日程で、生徒・先生方がたくさんの準備をしてきた「学校祭」が始まります。

9月最終週からの2週間余り3つのブロックに分かれて取り組んできたダンスや合唱の発表はもちろん、それ以外にも授業・部活動・学校行事・特別活動など、さまざまな場面で積み重ねてきた多様な「学び」を発表・展示をする計画となっています。どの発表や展示に対しても、みんなが温かく受け止め、発表や展示に至る「過程」の尊さを互いに認め合える、そんな温かい「学校祭」になることを心から期待しています。

月曜の朝礼では、前期生徒会長から今年の学校祭テーマが「燈（ともしび）」になったと発表があり、テーマがもつ「意味」「思い」について話がありました。全校みんなで、明日からの2日間いろいろな面で「燈」を心の中に灯して、「アツく、温かい」学校祭を成功させてください！保護者・地域の皆様におかれましても、多くの方のご来校をお待ちしております。

